

自己評価票

(個別表)

【事業者名称】グループホーム愛和 Bユニット

H 22年 7月 21日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしい暮らし」が出来る様、適切な介護サービスを提供します。他理念を掲げている。利用者さんにも分かりやすい言葉で書いて頂き掲示している。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送りの際理念を復唱する事で、再認識できるようにし、カンファレンスなども積極的にを行い理念の共有をしている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営推進会議や、地域ケア会議、家族さんとの交流会、地域にむけての愛和だよりを発行し掲示板、回覧に提示させて頂いている。		
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	餅つきの餅をご近所に配ったり夏祭りの無料券をご近所に配り来て頂いた。七夕の笹を玄関先に置き、道行く人に持ち帰って頂いた。近所の老人会の方が毎日立ち寄り段ボールを持ち帰られている。		
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の地蔵盆や地域の文化祭、祭りなどに参加させて頂いている。		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	大津市の認知症相談所協力事業所として登録している。認知症や介護についての相談を随時受け付けている。		
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員が相談し行うことにより、問題点、改善点等、気付く事も出来、介護職としての姿勢を振り返ることが出来た。	○	自己評価の意義は分かっているが、全員が一室に評価する機会が無かった。昨年度の様により評価できると良かった。
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	意見交換し、いろんなことを教えて頂いている。提案頂いた事は視点も違い参考になっている。行事等確認しながら、方向性を統一している。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域ケア会議や情報提供会に参加し、情報を得ている。分からない事があれば、電話やメールで市役所に相談している。		
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について研修済み。職員には内部研修で制度の概要と必要性を学んで頂いた。	○	学んでも必要性が無いので、直ぐに忘れてしまう。たびたびの研修がいる。
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修で学んできた職員を講師とし、研修を開きみんなで話合った事がある。昨年度は外部研修の虐待の報告書を回覧し読んだ。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に見学をして頂き、ホームの様子をしっかりと理解して頂き、疑問な点や判らない事は事前に聞いて頂いて、理解してから契約をしていただいている		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さんの昔の話を伺ったり、親身になって寄り添う事によって心情を吐露して頂く様努めている。大津市の介護相談員さんも月1回来られている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月一回、愛和通信、近況報告、往診通院報告、出納帳報告で利用者の健康状態やホームでの様子をお知らせしている。又、異変時にはその都度報告している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族さんよりの要望、改善点を聞き、ご指摘に添えるよう努めている。又、敬老会、餅つき大会の後家族さんに集まって頂き、お互いに話し合っていた。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	3か月に1回全体会議を開き、発言して頂いている。ユニット会議他、意見があれば随時間いている。年に1回、個人面接も行っている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様の健康状態や通院介助に応じて勤務時間の延長、変更にも努めている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の職員の移動は、原則1名ずつとし少しずつ慣れていただいている。両ユニット共有職員も設けている。		
理念を実践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	マニュアルを作成し実務に生かす様にしている。内部研修や職員の段階に応じた外部研修にも参加している。現場において問題点が生じれば管理者に聞ける態勢を整えている。		
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のGHの方に見学に来て頂いたり、見学に行ったりと、職員が勉強できる環境を作っている。近隣のGHとは研修の交換会も行った。淡海GH協議会の交流会にも参加し、気付いた事をレポートで皆に伝え、自分達の振り返りの材料にした。		
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年に何回か職員を集めた飲み会を実施したり、職員一人一人の話を聞き、問題があれば解決できるよう、間を取り持っている。又、個人面接でも体調を聞いている。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各職員の個性・長所を認め合い、発揮できる様な機会を設けている。年1回の個人面接で1年間の目標を聞いている。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学时に本人や家族の悩みや困ってる事をよく聞くようにし、何に困っているのかを聞けるようにしている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族さんが困っていることを相談できるように、来所された際にはゆっくり話しが聞けるように努めている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な方はご家族と相談し、専門医への受診に結びつけている。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	先ず、見学に来て頂き、お茶と一緒に飲んだり、話したりして雰囲気に慣れて頂き、納得した上で入所して頂いている。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	味噌作りなど聞きながら行っている。また着物の着方を教えて頂きながら着たり、たたみ方も指導して頂いた。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	近況報告などをこまめにし、家族さんも参加できる行事なども多く取り入れることで、共に共感し、家族さんと共に本人を支えられるようにしている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様にはいつでも面会、外出外泊の自由がある事を伝えると共に、ご家族様の意向をお聴きし、会える日を楽しみに待てるよう支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	御親戚やご友人の方の面会も、ご家族に確認しながら受け入れている。又、お墓参り、帰宅などご家族と自由に過ごして頂いている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う方同士で座って頂いている。急変された方で体調が良ければ皆と一緒にすごして頂いている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	元家族として、運営推進会議に参加して下さっている方もある。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活での言動、行動、表情を観察し耳を傾け希望や意向に沿うように努めているが、糖尿病の方のお菓子希望や、帰宅願望などかなえきれない物もある。	○	糖尿病の方のローカロリーのお菓子の検討。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	担当のケアマネジャー、ご利用者さんやご家族のお話を丁寧にお聞きし、その人らしい生活を送って頂くよう努めている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	自室でいるのが好きな方、リビングで人のお世話を焼くのが好きな方等、気付きを記録すると共に、それぞれの能力をカンファレンス等で共有している。		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者さんの日ごろ状態を観察した上でカンファレンスを行い、意見を出し合った結果利用者さん1人1人の介護計画を作成している。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	新たな問題が生じたら其の都度、申し送り、カンファレンスを行い、利用者さんにとって最適なケアとは何かを模索し、見直しを諮っている。		
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	些細な変化もしっかりと観察し、記録に記載している。又申し送りを通して情報の共有に努めている。	○	勤務が空くと、前日のは把握出来るが、5日位前のは情報量が多く把握出来ていない事が多い。
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	遠方の医療や入院になった時と自宅近くの病院の診察を希望され、支援した事がある。又、利用者さんの希望で喫茶店に行ったりしている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアさんに助けて頂き、地域の方が参加できる夏祭りを開いたり、習字やいけばなもボランティアさんの協力にて実地している。		
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	家族さんより訪問リハビリを依頼されたが提供先が見つからず、行っていない。訪問マッサージをお願いしていた。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議での話し合い、助言を頂いている。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に医療の希望をお聞きしている。希望があり継続できる所は実施している。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要な方はご家族と相談し、受診に結びつけている。通院は職員が付き添い、生活の様子、変化を報告している。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週に1度訪問看護師さんに来て頂き、健康状態を診て頂いている。訪看、Dr.ホームと連携ルートが出来ている。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時に病院に情報を伝えている。入院が長引く事によって認知症が進行しない様早期退院に努めている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	その兆候がみられた場合、家族さんの意思を確認しながら、主治医に相談、対応方法を検討している。又、全員で話し合い方針をつくり、共有しケアをしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化、終末期にむけて、家族さんのお気持ちをお聞きし、事業所としてどのように対応出来るか、かかりつけ医とともに検討している。記録様式の変更等皆で情報を把握し易いようにしている。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	特養に決められた方、特養から食事の提供時間に来て頂き、その方にとって最良の食事状態を見て頂き、ホームでの方法を伝えた。又、医療の経過等詳細に伝えた。		
地域資源との協働 10項目中 項目					
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	利用者さんの意思を出来る限り反映し、職員は、適度の距離を測る様にしプライバシーに配慮している。		
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者さんの願望、したい事、したくない事などを個別にお聞きしている。発語出来ない方は、表情や顔き等を通して判断している。		
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自室で過ごされる方、リビングで過ごされる方、時間帯、体調、気分に応じてその人の個性に合わせた支援をしている。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	季節、その人の好み、その日の気温に応じて衣服を調整して頂いている。毎日化粧をし身だしなみを整えられる方もある。理容・美容は希望が無いので職員が行っている。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者さんが好きなメニューをお伺いしたり、健康状態によって調理に工夫を加えている。又、声掛けによって味見、盛り付けをして頂いている。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	朝には一人一人注文を聞いてお茶の時間を楽しまれる。カロリーや体調をみながら個人様用のおやつも食べていただいている。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご本人の意向と了解を得て、排泄の状態を見ながらトイレでの排泄をしていただくように声かけさせていただいている		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調、入浴希望をお聞きして入らせていただいている。保清のため定期的に声かけしている 希望により毎日入浴の方もいる。		
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ご本人の気持ちをお聞きし、状況、状態に合わせて休息していただいている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人が出来る範囲での家事や手伝いをして頂き、散歩を出来る人には散歩をしていただいている。遠足などの行事を取り入れることで、楽しみや気晴らしにもなっている。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	遠足などの時に土産を買ったり、夕食の食材を一緒に買いに行ったりし、お金を使う楽しみを提供している。		
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩などの要求があれば散歩に行き、晴れてる日などは、花を見に行ったりしてなるべく外に出るよう心がけている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月に1回は行事として外出の機会を設けている。遠足などは家族さんも参加できるようにし、家族さんと過ごせるように努めている。遠方のお墓参りに行かれたこともある。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がしたいと言う訴えには基本電話をしていただく様になっている。手紙も利用者さんの訴えがあれば出すようにしている。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも来て頂いて良いようにしている。居室でもリビングでも好きに過ごして頂いている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ① 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修により、職員の意識を高め、自由に動いていただけるように、通路などに障害物を置かないなど利用者さんの動きを抑える事はしないようにしている。		
66	26	<input type="checkbox"/> ② 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ドアに鈴を付けたりセンサーを付ける事で気づける仕組みを作っているが、多動の方が入所されたところ。当面どちらも慣れるまで、窓とユニット入口にカギを掛けている。	○	先ずは、2階ユニットの入口のカギを日勤帯より解錠出来る様、試みる。
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日勤帯は、3人体制で利用者さんのおられる場所、状況を連携して把握する様努めている。夜勤帯は、2時間間隔で見守りをしている		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者さんの状況、状態に応じて異食や事故に繋がらない様、洗濯室に洗剤・薬品類をいれ、鍵を掛けている。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメントや防火・防災の内部研修。ヒヤリはつとや事故報告等を皆で検討。朝食が早い人の薬確認が出来ない時がある。その場合ご本人と他の利用者さんにも確認して頂いている。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の方より救急救命の講習を受講している。定期的に内部研修を行い知識、対応策を深めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月1回火災、または地震を想定し、避難訓練している。訓練の失敗等報告をその都度回覧で回し共有している。運営推進会議で地域の方とも話し合っている。今年2月にスプリンクラーを設置した。		
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	転倒の危険のある方、急変の可能性のある方など想定されるリスクを家族様に伝え、話し合い、対策を講じている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段と変わった事や状態変化時には、記録の特記事項にあげ、口頭でも伝えると共に、申し送りでも報告し、申し送りノートにも書き、情報を共有している。		
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	投薬時に必ず職員2人にて薬の種類、人名、日にちを確認し合っている。利用者さんに応じて飲み込みやすい様に工夫をしている。薬明細を絶えず確認できる様ファイルしている。		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	自力での排泄が困難だと判断した場合排便状態を把握し排便を促す飲料や処方された薬を服用して頂き調整している		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後口腔ケア、義歯の保清を心がけていただくよう声掛けや援助を行っている		
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量の表を作成し常に確認出来る様にし、体調の変化に応じて栄養バランスや水分量の調整を図っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	チェックシートを作成し、ドアノブや手すりなどを毎日消毒している。うがい・手洗いを励行し外部から菌を持ちこまない様にしている。冬場は外出の際には、マスクを着用。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品は冷蔵庫で室温で長くおかない様に。食器等は使用后高温乾燥、ゴミ入れまな板等は塩素系で毎日消毒している。又、冷蔵庫内はアルコール消毒液で消毒しチェックシートで確認している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に掲示版を設置し、日頃の活動が近隣の方に理解して頂く様努めている。又玄関周りに季節のお花やめだかなど親しみをもたれる様努めている		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	座る場所などを定期的に変えリフレッシュを図ってみたり、皆で集まって歌など歌って利用者さんが仲良く過ごせる空間を作っている。		
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室にソファを置き向きを変えたり、障子で間仕切りなどしている。多目的ホールで一人でゆっくり過ごされている方もある。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の昔から大切にしておられる物を持ってきていただき、利用者さんの(なじみ)を大切に部屋作りをしている。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝窓を開け換気をしている。天気の良い日には、天窓や窓を開け開放している。又利用者さんの意見や体調に応じて温度調節を図っている。トイレの窓は西日が当たる為、すだれを吊っている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<input checked="" type="checkbox"/>	①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、自室前など各々の利用者さんに応じて手すりを設置している。自立の方車イスの方、最大限動きやすい様、机の位置を配置している。		
86	<input checked="" type="checkbox"/>	②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	聞き取りにくい方などには、ホワイトボードを活用したり、利用者さん一人一人の状態に応じて出来るだけ、自立につながる様努めている。		
87	<input checked="" type="checkbox"/>	③建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやペランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りに畑を作り収穫を一緒に楽しんだり、ペランダで日向ぼっこをしたりと、自由に外に出て楽しんでいただいている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
項目		14 取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

皆で和やかに暮らせるよう、優しい気持ちで接していける様努めます。

評価結果整理表

個別表

□のチェック項目数

I 理念に基づく運営

－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	3 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	3 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

－1.	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	2 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10 項目/10項目

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

IV－1. その人らしい暮らしの支援

－1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4)	<input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	7 項目/8項目
－1. (5)	<input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	6 項目/7項目

IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

－2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (4項目/5項目)について

自己評価を職員で行ったが、全員で一堂に関して行う事が出来なかった。一堂に行う事により、より良い評価が出来た様と思う。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (2項目/4項目)について

情報の完全把握を全員が確実に行っていく為に、方法を再検討。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (5項目/7項目)について

ユニット入口のカギの解錠と利用者さんの安全の両立。両立させる為の、職員のフォローアップ体制。

V サービスの成果に関する項目について

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム愛和

評価年月日: H22年 7月 21日

前回評価年月日: 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
7	5	自己評価の意義は分かっているが、全員が一堂に評価する機会が無かった。昨年度の様によく評価できると良かった。	H24年5月~H24年7月	早めに提示、自己評価に向けての時間を設ける。		
10	4	学んでも必要性が無いので、直ぐに忘れてしまう。たびたびの研修がいる。	H21年9月1日~12月31日	内部研修で再度取り上げる。		
33	2	糖尿病の方のローカロリーのお菓子の検討。	H21年8月1日~8月31日	主治医に相談と提供方法をユニット会議で検討		
38	1	勤務が空くと、前日のは把握出来るが、5日位前のは情報量が多く把握出来ていない事が多い。	H21年8月1日~8月31日	ユニット会議にて検討後実施。		
66	3	まずは、2階ユニットの入口のカギを日勤帯より解錠出来る様、試みる。	H21年9月1日~12月31日	ユニット会議にて検討後実施。		